



福岡県医発第 2429 号 (総)

平成 24 年 1 月 18 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

平成 23 年度医療政策シンポジウムの開催について (ご案内)

日本医師会より標記シンポジウムを下記日程により日本医師会館にて開催する旨、案内がまいりました。

つきましては、本シンポジウムへの出席の有無を、別紙にて2月10日(金)までに本会宛にご回報ください。

ただし、福岡県医師会からの出席可能な人数は 10 名となっておりますので、希望者多数の場合は本会にて調整させていただきますことをご了承下さい。

なお、出張旅費は各自でご負担お願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成 24 年 3 月 11 日 (日) 13:00～17:00
2. 場 所 日本医師会 大講堂 (東京都文京区本駒込 2-28-16)
3. テーマ・プログラム (別紙)

以上

小郡三井医師会より

会長 蒲池 壽

平成 23 年度 医療政策シンポジウム

日 時 : 平成 24 年 3 月 11 日 (日) 13:00~17:00

場 所 : 日本医師会館 大講堂

テーマ : 「災害医療と医師会」

次 第

司会: 高杉 敬久 (日本医師会常任理事)

開 会 13:00

主催挨拶 13:05~13:10

原中 勝征 (日本医師会会長)

講 演 *演題名は仮

座長: 石井 正三 (日本医師会常任理事)

I 13:10~13:20 「東日本大震災と JMAT の活動」

石井 正三 (日本医師会常任理事)

II 13:20~13:30 「東日本大震災と関連研究への取り組み」

畑仲 卓司 (日本医師会総合政策研究機構 研究部統括部長、主席研究員)

III 13:30~13:50 「災害と医師会の役割」

ホセ・ルイス・ゴメス・ド・アマラル (世界医師会長、前ブラジル医師会長)

IV 13:50~14:10 「米国の救命救急の現状」

ステファニー・ケイデン (ハーバード大学教育関連病院ブリガム&ウィメンズ
病院救急部)

V 14:10~14:30 「東日本大震災後の復旧はどうあるべきかー公衆衛生の立場から」

マイケル・ライシュ (ハーバード大学公衆衛生大学院教授)

VI 14:30~14:50 「米国の大災害時の医療提供体制」

ジェームス・J・ジェームス (米国医師会 救急医療担当役員)

< 休 憩 10 分 >

座長: 中川 俊男 (日本医師会副会長)

VII 15:00~15:20 「平時の安全保障としての医療」

小川 和久 (軍事アナリスト、国際変動研究所理事長)

VIII 15:20~15:40 「福島第一原発事故と放射線被曝について」

明石 真言 (放射線医学総合研究所理事兼緊急被ばく医療研究センター長)

IX 15:40~16:00 「大災害と救命救急のあり方」

坂本 哲也 (帝京大学医学部 救命救急センター教授、同センター長)

< 休 憩 10 分 >

パネルディスカッション

16:10~17:00 「災害医療と医師会」

パネリスト: 上記 8 名の講演者 (畑仲を除く)

座長: 小林 國男 (帝京平成大学教授・日医救急災害対策委員会委員長)

横倉 義武 (日本医師会副会長)

閉会挨拶 17:00

横倉 義武 (日本医師会副会長)

福岡県医師会 総務課 宛

(FAX 092-411-6858)

平成 23 年度医療政策シンポジウム

△ と き 平成 24 年 3 月 11 日 (日) 13:00~17:00

△ と ころ 日本医師会館 大講堂

役 職	氏 名

出席者なし

医師会名 _____